



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北だより

6月臨時号

令和4年6月3日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>



読書で 脳を鍛え、心を磨こう !!

【読書旬間に向けて】

子供に読書をすすめるとき、どのようなことを価値としてあげますか。

人間の字を読む脳は遺伝子的に獲得されるのではなく、既存の脳の回路を駆使して後天的に発達するそうです。この読む脳も鍛えれば発達し、より「深い読み」ができるようになります。本年度も、学校では、デジタルコンテンツを上手に使えるようにしつつ、深い思考力を培う楽しい読書体験も大いにすすめていきたいと思います。

さて、昨年度の大泉北小学校児童学校評価アンケートでは、「あなたは、すすんで読書をしていますか。」（辞書や図鑑、新聞、電子書籍を含む）では、「そう思う」44%、「ややそう思う」31%、「あまりそう思はない」15%、「そう思わない」10%でした。75%の児童は読書の楽しさや調べる楽しさを味わっているようです。

先日、授業が始まるまでの僅かな時間「はてしない物語」に没頭している6年生の児童の姿がありました。「これはどんな話なの？」と友達が話しかけると、顔を上げ、丁寧にあらすじを説明していました。朝の校門で「今日は図鑑を2冊もってきたんだ。」と嬉しそうに教えてくれる児童もいます。自分の好きな本や興味をもてる本を見つけられるのは素敵なことですね。

全ての児童が本の楽しさを体験できるように、学校では読み聞かせをしています。読み聞かせは、同じ空間で友達と豊かな共通体験ができる貴重な時間となります。昨年度は、図書委員会児童による本の紹介やけやき班でのペアでの読み聞かせを実施しました。担任をはじめ教職員の読み聞かせもしています。コロナ禍で保護者の皆様にしばらくご遠慮いただいておりますが、今年はボランティアを募り工夫して実施したいと考えています。是非とも、ご興味がある方はご連絡ください。お待ちしております。

【第1回読書旬間について】

6月15日（水）～6月29日（水）

「毎日本を読もう。」という目標のもと、期間中の朝学習はすべて朝読書となります。

また、外で遊べない休み時間はなるべく教室で読書をするよう呼びかけます。

課題読書用に、団体貸し出しで各クラス40冊ずつ学級文庫を用意します。

図書委員会による読み聞かせや本の紹介も予定しています。

【(株)図書館流通センター永山智美さん】

読書旬間では、図書室の本が4冊まで借りられるようになります。いつもは手にとらない本にも、ぜひチャレンジしてみてください。中を開いてみたら、意外とおもしろいかもしれませんよ。

そして毎日少しずつでいいから本を開けて読んでみてください。私ももっとたくさん読みたいと思います！

たくさんの本との出会いは、キャリア教育で目指すところとなる「自分のよさ」や「自分の将来」について考えるきっかけとなることもあります。また、「情報活用」に役立つ本もたくさんあります。

図書室を積極的に活用してほしいと思います。（図書室は火・金曜に開館しています。）